

つばた

議会だより

No.142

2017. 7. 5

心身ともに健



6月会議 シングル4室を倶利伽羅塾に増築 2P

クローズアップ 興津区の柵田保全に補助 4P

委員会審議 笠野・刈安・萩野台小学校の給食調理場を共同に 5P

いっばん質問 ジュニアスポーツのさらなる充実をなど 9人が登壇 8P

あの質問のゆくえ 業務継続計画の策定をなど 19P

器械運動交歓会に向け
技に磨きを

(中条小学校)

6月会議

宿泊客のニーズに応じて

シングル4室を
倶利伽羅塾に増築

5000万円計上

6月会議を5日から13日までの会議期間で開催した。初日に一般会計・特別会計補正予算、条例の改正を含む議案6件が提出され、引き続き町政全般について9人が一般質問を行った。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願2件を採択、1件を不採択とし、意見書2件を可決した。続いて監査委員、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の選任、農業委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦について同意した。

13日には、向 正則議長の辞職に伴い議長選挙が行われ、多賀吉一氏が14票を獲得して当選し、就任した。議長の交代に伴い、議会運営委員会委員の選任、県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われた。

北

陸新幹線金沢開業以来、倶利伽羅塾を訪れる人は増加傾向にある。それに伴い、宿泊も個人・団体ともに増える中、特に県内へ出張で訪れるビジネス客の利用が増えており、単身の宿泊が見受けられる。施設のより効率的な運用を図るため、新たに単身用洋室を4部屋増築することとした。

今会議に設計・工事を計上し、平成30年春の完成を目指す。宿泊客の思いに応え、さらに施設利用者増を図る。

一般会計補正予算

9023万円を可決

(賛成14人・反対1人)

一般会計総額122億1323万円に



▲シングルもファミリーも気軽にどうぞ

第30代議長に

多賀 吉一氏



所信表明

初当選から4期12年目を迎え、これまで培った経験を生かし、公平・公正な立場で活発で秩序ある議会の運営を目指したい。

また、議会改革に終わりはなく、PDCAサイクルを繰り返し、さらなる改革を目指し進んでいきたい。

そして行政とは違った角度で意見を出し合い、協力して問題を解決し、住んでよかった、住んでみたい町の実現を目指していくことが重要であると考える。

今回の議長選挙から立候補制を導入し、多賀、塩谷の2氏が議場において所信表明を行った。

こんなことに使われます
クローズアップ

6月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。

**笠野小体育館改修へ
建築設計を委託**

90万円

笠野小学校体育館の屋根・床・LED照明の大規模改修に係る建築設計業務を委託する。工事は平成30年度の予定である。



**河合谷町民センターに
防犯カメラを設置**

61万円

河合谷町民センターは、戸籍の証明書住民票の写し等の交付などの業務を行っており、役場や出先機関と同様、セキュリティの強化および防犯対策をする必要がある。防犯カメラは、正面玄関など2か所に設置予定である。

興津区の

棚田保全に補助

50万円

県は、「興津を元気にする会」の地域活性化に向けた取り組みを評価し、棚田保全対策事業に採択した。同会は、6次産業化への取り組みも積極的に行っており、他の集落にも取り組みが波及することが期待されている。



▲棚田の美しさを満喫

条 例 改 正

**河北中央病院
文書料を改定**

河北中央病院の文書料は、平成元年から据え置きとなっており、県内公立病院と比べても低いため、県内平均額を参考に改定する。

主なものとしては、一般診断書が1620円から2160円に、入院証明書が3240円から4320円になる。

平成29年7月から施行する。

Q 28年の実績と比べると、どれくらいの収益増となるのか。

A 約38万円を見込んでいます。

反対

事業収益を上げるために細かな検討をしていることは理解できるが、利用する町民の立場からすると、あまりにも上げ幅が大きく、負担感が大きい。

塩谷 道子議員

委員会 審議

町議会では2部門の常任委員会に分かれ審議しています。

総務産業建設（総務・財政・税務・議会・監査・消防・土木・農林・労働・商工・上下水道など）

◎八十嶋孝司 ○酒井義光 竹内竜也 西村 稔 多賀吉一 向 正則
谷口正一 河上孝夫

文教福祉（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎荒井 克 ○道下政博 森川 章 井上新太郎 森山時夫 角井外喜雄
塩谷道子 洲崎正昭

（◎委員長 ○副委員長）

文教福祉

笠野・刈安・萩野台小の
給食調理場を共同に

-学校教育課-

Q 工事はいつになるのか。
A 平成30年度の予定である。29年度は建築設計業務を委託する。

Q 3校の給食調理場を共同にすることでのメリットは。
A 人件費や設備修繕費、燃料費などを削減することができる。

Q 工事内容は。
A 萩野台小では、給食施設の改修や配送車の出入口の設置、笠野・刈安小では、配送車の出入り。

Q 子育てワンストップサービスとは。
A 子育てワンストップサービスとは、児童手当申請や保育園の入園申請などの子育て関連の手続きが可能となるサービスのことである。

総務産建

子育てワンストップ
サービスの利用に向けて

-企画財政課-



▲もっとつながろう

Q 国からの補助は。
A 国は特別交付税で必要額の半分を措置する意向である。

Q 子育てワンストップサービスとは。
A マイナポータル上で、児童手当申請や保育園の入園申請などの子育て関連の手続きが可能となるサービスのことである。

Q サービスはいつ開始されるのか。
A 開始時期は当初7月の予定であったが、国の手続きの遅れにより未定である。

※マイナポータル

住民自らがマイナンバーカードを利用して、行政機関の保有する自身の特定個人情報等の照会や各種手続きの申請ができる仕組み。



▲おいしい給食ありがとう

請願3件を審査

みなさまからの

採択

無料公衆無線LAN(Wi-Fi) 環境の整備促進を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区員

池田 邦三
道下 政博
紹介議員 (全員賛成)

主旨

観光庁が行った調査によると、日本を訪れた外国人が旅行中最も困ったこととして「Wi-Fi環境」が最も高かった。東京五輪を見据え、防災の観点からも空港や駅、公共施設などへの整備を促進する必要がある。

採択

雪崩遭難者救助対策の推進を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡地区員

池田 邦三
道下 政博
紹介議員 (賛成14人・反対1人)

主旨

雪崩遭難者の早期救助のため、150メガヘルツ帯の登山者位置探知システムの導入促進を求める。

採択された2件の請願は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

不採択となった請願

「テロ等準備罪」の創設に反対する意見書の提出を求める

◎請願者 津幡町越中坂

西村 善男
道子
塩谷 道子
紹介議員 (賛成3人・反対12人)

賛成

処罰主体や計画・実行準備行為など、構成要件が不明確な瑕疵ある法案だ。準備罪は、既遂処罰が原則である刑事法体系を変容させ、恣意的な適用によって私生活も侵害される。

竹内 竜也 議員

賛成

内心を処罰する共謀罪と同趣旨だ。すべての人が対象となり得、捜査機関による監視が常態化すればプライバシーも侵害される。政権批判を委縮させ、民主主義の崩壊につながる。

塩谷 道子 議員

賛成

弁護士会の反対も多数あり、誤認逮捕が増えることが懸念され、テロ等準備罪の創設には反対である。

西村 稔 議員

反対

国際社会と協調し、テロを含む組織的犯罪と戦わねばならない。TOC条約の締結には、テロ等準備罪の創設が不可欠と言われている。東京五輪の成功に向け、安全な日本を示す必要がある。

八十嶋孝司 議員

反対

先進7か国でTOC条約に未加盟なのは日本だけであり、加盟条件であるテロ等準備罪の創設は急務である。監視社会への懸念がささやかれるが、国際社会からの批判は聞かれない。

道下 政博 議員

人事

選任された委員

監査委員

(平成29年6月24日)

任期4年

尾山 信行氏



(能瀬)
新任

公平委員会委員

(平成29年6月27日)

任期4年

前田 進氏



(津幡)
再任

固定資産評価 審査委員会委員

(平成29年6月28日)

任期3年

高倉 明氏



(加賀爪)
新任

農業委員会委員

(平成29年7月20日)

任期3年

井上 信一氏



(仮生)
再任

吉田 秀夫氏



(五反田)
再任

塚本 美義氏



(七黒)
再任

中井 勝氏



(南中条)
新任

中島 勉氏



(川尻)
新任

酒井 美代子氏



(浅田)
新任

岡田 徳幸氏



(上大田)
新任

焼田 康彦氏



(庄)
新任

川崎 哲夫氏



(領家)
新任

吉本 市港氏



(吉倉)
新任

山田 慧氏



(竹橋)
新任

人権擁護委員

(平成29年10月1日)

任期3年

橋口 有康氏



(太田)
新任

樋口 徳正氏



(加賀爪)
新任

(以上、全員賛成)

6月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

議案	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
議案	一般会計補正予算(第1号)…俱利伽羅塾や小学校の改修費など、9023万円を増額する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	○	○	○	○	可決 賛14・反1
	介護保険特別会計補正予算(第1号)…社会保障・税番号制度への対応に伴う介護保険システム改修のため、218万円増額する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	○	○	○	○	可決 賛14・反1
	河北中央病院事業の設置等に関する条例の一部を改正…診断書などの文書料を見直し、適正な金額に変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	○	○	○	○	可決 賛14・反1
請願	雪崩遭難者救助対策の推進を求める意見書の提出を求める	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	採択 賛14・反1
	「テロ等準備罪」の創設に反対する意見書の提出を求める	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	—	×	×	×	×	不採択 賛3・反12
議案	雪崩遭難者救助対策の推進を求める意見書	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	可決 賛14・反1

※議長は採決に加わらないため「—」で表示

ん質問



荒井 克 議員

スポーツ振興

ジュニアスポーツのさらなる充実を

拡充につなげていく

荒井 議員

幼いときからのスポーツ経験が、将来の可能性を広げていくと考えられる。梨紗子選手も、レスリングのジュニアクラブで指導を受けた。

当町のジュニアスポーツ団体も活躍しており、町としてさらなる充実を図れ。



ジュニア時代の川井選手

矢田 町長

一般社団法人津幡町体育協会に加盟しているジュニアスポーツクラブは、平成29年度は34団体である。

施設の小規模な整備には、競技協会などから要望を聞き対応し、育成費や大会などへの補助金の交付も行っている。

今後も関係者の意見を聞き、拡充につなげていく。

多胎児への支援に 取り組み

ニーズを把握し検討する

子育て

荒井 議員

平成29年2月に、町内で四つ子の赤ちゃんが誕生し、明るいニュースに町民が元気をもらった。四つ子の誕生は全国的にも例が少なく、データもほとんどない中で、妊娠から出産に至ったと聞く。

今後、町の子育て支援の一環として、多胎児に対し、独自の取り組みを示せ。

矢田 町長

町は、多胎児の妊娠から出産後まで定期的な家庭訪問をするなど、総合的な相談支援を行いながら、母子の健康状態を注視深く見守っている。

今後は、産後ヘルパー事業による母親の家事援助、子どもの一時預かりなどを行う子育てサポートセンターの利用支援、ベビーカーなどの購入費助成ができないか、ニーズを把握した上で検討する。



▲すくすく育ってね



八十嶋孝司 議員

ズバリ 町政を問う

いっば

輸送拠点設置の 取り組みは

県と連携し 取り組んでいく

支援物資

八十嶋 議員

国は、熊本地震で一部支援物資が届かなかったことを教訓に、平成29年4月、市町村の役割を見直した。支援物資の地域単位の拠点設置、物資の集積と仕分け、避難所への配送などを各自自治体に担わせ、地域防災計画に反映することを指示した。町の取り組みは。

県防災会議において輸送拠点を設ける方針が盛り込まれたことを受け、当町も平成29年7月に予定している町地域防災会議で、地域防災計画に地域内輸送拠点を設置することなどを盛り込むこととしている。

今後は、円滑に支援物資の供給が行われるように、訓練や研修をさらに充実させていく。

石庫 総務部長



◀物資が行き渡るように
(町防災総合訓練)

ウェルピア倉見

2階和室を合宿施設に

現時点では難しい

八十嶋 議員

ウェルピア倉見は、高齢者福祉施設として利用されてきたが、年々利用者が減少している。利用増を図るためにも

2階和室3部屋に特化し、合宿施設に利用するなど、将来に向けた抜本的な有効利用を図るべきだ。町の考えは。

矢田 町長

施設1階は町民の憩いの場となっているが、2階の各和室はあまり利用されていない。提案された宿泊利用は、旅館業法や消防法などの許可のほか、宿泊施設としての改築費用の確保や管理運営体制の整備、さらに費用対効果を検証する必要がある、現時点ではかなり困難と思われる。

今後は、稼働率アップに向けて広報活動や各種教室、サークルの誘致に努めていく。

▲稼働率アップを目指して





道下政博 議員

がん教育

命の尊さを学ぶ 教育の推進を

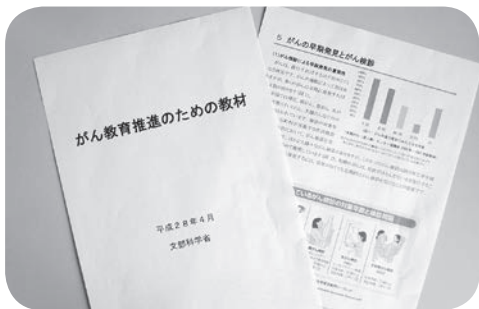
健康教育の

一環として行う

道下 議員

がんは国民病とも言われているが、医療の進歩に伴い、治療が難しい病気から長く付き合う病気へと変化している。

がんに向き合い、付き合うことができる知識と思いやりを育てられるよう、がん教育を学校などで実施すべきである。



▶学ぼう、がん教育

当町の小中学校におけるがん教育の推進は、健康教育の一環として行われていることから、学習指導要領を踏まえ、中学校の保健体育科を中心に教育活動全体を通じて進めていく。
健康や命の大切さについては、小中学校それぞれの発達段階を踏まえた内容で取り組む。

吉田 教育長

「消防団応援の店」 事業を導入せよ

地域防災力

検討する

全国でも消防団員の不足は大きな問題となっている。
福利厚生の充実による団員の確保、さらに地域防災力の向上を狙い、「消防団応援の店」事業が導入されている。この事業では、商品購入金額の5%引きやポイント2倍などのサービスを受けることができる。
当町でも導入せよ。

道下 議員



▲日ごろの活動に感謝

松浦 消防長

当町の消防団員数は、平成29年4月現在、定員181人に対して178人であり、ほぼ確保している。

今後の消防団員確保と消防団活性化対策の一つとして、「消防団応援の店」事業実施に向け、他自治体を参考に具体的に検討していく。

その他の質問

- Q** 災害対応型カップ自動販売機の導入を。
- A** 利点もあり、検討する。
- Q** Web口座振替サービス事業の導入を。
- A** 費用対効果などの分析を行い、検討する。
- Q** 食品ロスゼロへの取り組みは。
- A** 引き続きごみの軽量化、食育推進活動などで取り組む。



井上新太郎 議員

学校トイレ

洋式化への対応は

計画に基づき検討する

井上 議員

学校トイレの洋式化率は、全国平均で半数に至っていない。小中学生が一日の大半を過ごす学校では、健康への影響を考えると、トイレの洋式化は大変重要である。当町のトイレ環境の現状と洋式化に向けた対応

町の小中学校におけるトイレの洋式化率は、51・5%と全国や石川県よりも高い。洋式トイレ化率は、平成11年度以前に建設された学校では40%以下と低い傾向にあるが、洋式トイレの設置が国庫補助対象となった12年度以降に新築や大規模な改修を行った学校では、69%を超えている。今後の改修は、町公共施設等総合管理計画に基づいて検討していく。



待たれる洋式化

竹田 教育部長

ミサイル落下

避難訓練を実施せよ

避難行動の周知を図っていく

井上 議員

北朝鮮は、国際社会の懸念を無視し、核開発や弾道ミサイルの発射実験を繰り返し、今や日本にとって大きな脅威となつて

矢田 町長

北朝鮮は、国際社会の懸念を無視し、核開発や弾道ミサイルの発射実験を繰り返し、今や日本にとって大きな脅威となつて

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性があります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「アラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急連絡メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動
②正確かつ迅速な情報収集
 行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

国民保護ポータルサイト
 武力攻撃やテロなどから身を守るために
 事前に確認しておきましょう。
<http://www.jukuhoshogo.go.jp/01019/>
<https://www.kantei.go.jp/>

ミサイル落下時は、こちらから政府の対応状況をご覧いただけます
 国民保護ポータルサイト
 ツイッターアカウント
 ホームページ
 国民保護ポータルサイト
 @Kantei_Saigai

アラート（例）速ちに避難。速ちに避難。速ちに速やかな建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。速ちに屋内に避難してください。

メッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください。

- 屋外にいる場合
 できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
地下：地下街や地下駅などの地下施設
- 建物がない場合
 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合
 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

近くにミサイル落下！

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から速やかに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：防災用を止め、窓を閉め、自爆りをし室内を密閉する。

▲命を守る行動を（内閣府資料）

今後、国からの具体的な訓練方法が示されれば、速やかに対応する。



森川 章 議員

外食産業

ファミレスや
カフェを誘致せよ

誘致を目指していく

森川 議員

多くの町民から、ファミレスやカフェが町内にあればよいとの意見を聞く。両者とも民間ビジネスのサービスであるが、誘致を進めよ。また、文化会館シグナスにカフェを誘致するとともに、庁舎建て替え計画の中でも検討せよ。



▶カフェができればいいな

矢田 町長

平成23年度から7社と交渉してきたが、それぞれの会社の厳しい審査基準を満たせず、現在も立地には至っていない。引き続き、あらゆる手段を探りながら、誘致を目指していく。なお、役場庁舎建て替え計画の中で、一つの選択肢として検討していきたい。

児童生徒に配慮した 支援員の異動を

採用時期をずらすことは難しい

特別支援学級



▲楽しい学校生活を

森川 議員

町内の小中学校に19の特別支援学級が設置されている。これらの学級の円滑な学級経営のために、担任や特別支援教育支援員などに異動があった場合、関係児童生徒に混乱が生じないか。教員と支援員が同時に異動する事態を避けるため、支援員の採用時期を年度末からずらせないか。

吉田 教育長

特別支援学級の担任が代わる場合、新年度に円滑につながるため、児童生徒の特性の理解や指導上の配慮事項などを確実に引き継ぐようにしている。また、始業式より前に新担任と保護者が面談し、指導方針などを共通理解しておくことも有効な方法で効果が見られる。支援員の採用時期をずらすことは難しい。

その他の質問

Q 観光客を誘致する計画は。

A さらに充実、推進していく。

Q 部活動からクラブチームへの移行は。

A 学校教育の一環として支援していく。



西村 稔 議員

定住促進

行政サービスを無料にせよ

受け入れられない提案である

西村 議員

学費、医療費、公共料金の無料化や子育て世帯への助成を行うことで、少子化が解消され、定住促進につながる。負担がかからないまちづくりを目指せ。

矢田 町長

すべての行政サービスを無料とする政策は、健全な行政運営を目指す自治体には受け入れることができない提案である。町政の運営は、目の前の課題のみに対応するのではなく、長期的展望を持ちながら臨まなければならない。



▲目の行き届いたサービスを

町 政

残り任期の

取り組みは

着実に進めていく

西村 議員

町長は、残る10か月間の任期中にどのような指針を持って行政を行うのか。また、体験型観光交流公園について、さらに町民との議論が必要ではないか。

矢田 町長

先の平成29年3月会議での所信表明のとおり、体験型観光交流公園も含め、29年度の各種取り組みを着実に進めていきたいと考えている。



▲モミジが映える公園に



塩谷道子 議員

国民健康保険

都道府県単位化の現状は

適正税率に努める

塩谷 議員

平成30年度から国保の保険者が都道府県と市町村になる。石川県では、納付金・標準保険料率の試算結果はどのようなになっているのか。国保は法に明記された

社会保障制度であり、都道府県単位化されても社会保障に値する制度運営をすべきである。

今後、当町の国保税決定に当たっては、町民の立場で考えよ。

小倉町民福祉部長

県からは2回、試算結果が提示された。しかし、国からの公費拡充が未確定のため、現時点の試算結果は精度が低く、まだ公表できる段階ではないとのことである。今後、当町の保険税率の決定に関しては、これまでと同様、適正税率となるよう努めていく。



保険証の提示を

無償化せよ

現在のところ 考えていない

学校給食費



▲いただきます～す

塩谷 議員

6人に1人の割合で、子どもたちは相対的貧困の状態にある。

その対策として、全国ではいくつかの自治体で全員を対象とした給食費の全額補助や一部補助、多子世帯への補助などを行っている。県内でも、第2、3子から無料としている自治体がある。当町でも無償化、もしくは就学援助における給食費を全額助成せよ。

矢田 町長

現在のところ、学校給食の無償化や就学援助費での全額助成は考えていない。

平成29年度、文部科学省の補助金交付要綱の改正を受けて、就学援助制度の各支給額の見直しを検討している。

その他の質問

- Q** 地域総合事業の現状は。
- A** 事業所の利用は従来どおりである。
- Q** 公立保育園の民営化に歯止めを。
- A** 民営化を推進していく。



竹内 竜也 議員

感染症

早期探知に向けた 対策と課題は

町民に的確に 情報提供していく

竹内 議員
免疫や体力の弱い方を中心に、例年、感染症の集団発生が懸念される。感染が身近で急速に拡大する季節性のインフルエンザなどの場合、近隣市町を含めた発生状況に対する鋭敏さが求められる。

県保健環境センターが情報を集計・分析し、県を通して各市町に感染症の情報提供をしている。現在当町では、その情報を保育園、学校など関係機関に提供するとともに、ホームページやケーブルテレビに掲載し、町民への啓発を行っている。今後、緊急性の高い感染症については、町メール配信サービスを活用した情報提供を検討する。



◀気をつけよう、感染症

住民参画

パブリックコメントを 実施する意義を示せ

意見交換の機会になっている

竹内 議員

政策形成過程への住民参画の機会拡大を目的として、当町でも特定の案件にパブリックコメントが実施されている。手続きを経る意義と実施する適切な時期の考えを示せ。

吉田 総務課長

当町では、パブリックコメントを実施することにより、町の施策への理解、共有が図られ、町民と行政の協働が実現する手立ての一つになると捉えている。また、町と町民とが直接、双方向で意見を交換する機会にもなっている。

募集を行う時期は、対象とする計画の素案が策定された時点とするのが基本である。



▲私の意見を町政に



洲崎正昭 議員

まちづくり

具体的な施策は

第5次町総合計画を推進する

洲崎 議員

町長は、平成29年3月
会議で、未来と今を見据
えたまちづくりを進める
と所信表明をされている
が、そのための具体的
施策は、
また、町工業団地の用

矢田 町長

第5次町総合計画を推
進し、俱利伽羅峠の日本
遺産認定や体験型観光交
流公園の整備、津幡駅東
口整備と新駅設置計画の
策定などを考えている。

また、小学生の国内派遣
交流事業や中学生の海外
派遣交流事業など、未来
を担う子どもたちを育て
るための事業も重要であ
る。

工業団地造成に向けて
は適地調査を行い、速や
かに新工業団地を造成し
たいと考える。対象業種
や助成内容も改めて検討
する。



▲完売した旭山工業団地

表彰

4月18日に石川県町村議会議長会が
開催され、自治功勞表彰を受けた。

県町村議会議長会表彰

(在職11年以上)



向 正則 議員 多賀 吉一 議員

5月会議

町民の交通手段

町営バスを購入



▲地域の足として

5月19日に5月会議を開催し、財産の取得と規約変更の議案3件、承認10件が提出された。
議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決した。また、任期満了に伴い常任委員会などの組織替えを行った。

財産の取得

○津幡町営バス車両 1台

2251万円
(全員賛成)

規約の変更

○石川県市町村職員退職手当組規約

○石川県市町村消防賞じゅつ金組規約

構成団体となっている能美広域事務組合が解散したことに伴い、それぞれ同組合を構成団体から削除する。

(以上、全員賛成)

新・委員会委員

◆総務産業建設 常任委員会

委員長 八十嶋孝司
副委員長 酒井 義光
委員 竹内 竜也
西村 稔
多賀 吉一
向 正則
谷口 正一
河上 孝夫

◆広報調査特別委員会

委員長 荒井 克
副委員長 八十嶋孝司
委員 森川 章
竹内 竜也
井上新太郎
塩谷 道子

◆文教福祉常任委員会

委員長 荒井 克
副委員長 道下 政博
委員 森川 章
井上新太郎
森山 時夫
角井外喜雄
塩谷 道子
洲崎 正昭

◆県森林公園活性化 対策特別委員会

委員長 河上 孝夫
副委員長 道下 政博
委員 角井外喜雄
多賀 吉一
向 正則
谷口 正一
洲崎 正昭

◆大河ドラマ誘致推進 特別委員会

委員長 多賀 吉一
副委員長 角井外喜雄
委員 議員全員

◆議会運営委員会

委員長 洲崎 正昭
副委員長 谷口 正一
委員 向 正則
道下 政博
河上 孝夫

◆議会改革検討 特別委員会

委員長 角井外喜雄
副委員長 道下 政博
委員 竹内 竜也
八十嶋孝司
荒井 克
森山 時夫
酒井 義光

◆県後期高齢者医療 広域連合議会議員

多賀 吉一

*6月会議での議長交代に伴う人事もあわせて掲載しています

研修報告

5/15

視察受入

北海道中標津町議会

総務文教常任委員会
定住促進、ふるさと納税、通年議会の取り組みについて

5/17

視察受入

長野県東御市議会

社会文教常任委員会
地域包括ケアシステムの取り組みについて

5/31

研修会

町村議会議長・副議長
研修会

「大震災における自治体と議会の使命」
講師 今井 照氏
「議長・副議長のあり方」
講師 田口一博氏
など

議会改革への道

町議会では、平成22年12月に議会改革検討特別委員会を設置し、議会改革に関する事項を調査・検討し、議会機能の充実、強化および活性化を図っている。これまでの主な取り組みを報告する。

機能的な議会運営に向けて

- 通年議会の実施（北陸初）**
議会の招集権を町長から議長に移すことで、議会が主導的・機動的に活動できる
- 当初予算内示会の実施**
新年度当初予算の概要をより深く理解する
- 決算認定審査の早期化**
決算の認定時期を早め、次年度予算に反映させる
- 一般質問の一问一答方式の導入**
- 執行部への反問権付与**
- 議員定数の削減（18人↓16人）**
- 常任委員会を総務産業建設と文教福祉の2委員会に改組**

議員の意識改革等

- 政治倫理条例の制定**
- 政務活動費の廃止**
- 費用弁償の支給を特別委員会のみに限定**
- 議会災害対策支援本部の設置要綱と災害対応行動マニュアルを制定**
- 議長・副議長選挙における立候補制・所信表明の実施**

開かれた議会を目指して

- ケーブルテレビでの議会放映**
定例会初日を生放送で、その月の最終日曜日に初日と最終日の録画を放映
- ホームページの充実**
議長交際費、会議録、議案一覧、議決結果、一般質問通告一覧、政務活動費決算状況を公開
- 議会報告会の試行**
平成25年から町区長会をはじめ各種団体を対象に年1〜2回開催

今後の課題

- タブレット端末の導入**
- 予算決算常任委員会の設置**
- 議会基本条例の制定**
- 委員会・議員研修、行政視察の報告、公開**
など

追跡 あの質問のゆくえ

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

特設公衆電話の設置・利用に関する協定書締結式



▲より安全、安心なまちづくりを

業務継続計画の策定を

平成25年12月会議 角井外喜雄議員

大規模な災害が発生した場合に備え、事前に災害時の幅広いリスクを想定し、影響を最低限に食い止める計画書を策定することは行政業務の重要な役割である。

県は平成25年10月に業務継続計画を策定した。

町でも行政機能がストップしないよう優先順位を明記した業務継続計画を策定せよ。

答 弁

策定に向け取り組む

大規模災害が発生した場合には、災害応急業務に相当数の職員を割り当てる必要がある。

業務継続計画により、あらかじめ各部や各課で実施する災害応急業務、優先度の高い通常業務を決めておくことは大変重要なことである。

県が策定した大規模地震時における業務継続計画を参考にしながら、策定に向け取り組む。

その後

津幡町業務継続計画を策定

「大規模災害発生時における津幡町業務継続計画」を平成29年5月に策定した。大規模災害が発生した際、①町長不在時の明確な代行順位および職員の参集体制、②本庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定、③電気、水、食料等の確保、④災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保、⑤重要な行政データのバックアップ、⑥非常時優先業務の整理、以上の特に重要な6要素などを定め、災害発生後の業務レベル向上を図ることを目的としている。

計画の実効性の点検・是正、確認などを踏まえ、毎年見直しを行っていく。



App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。

特設公衆電話の回線を引き災害時に備えよ 平成28年6月会議 道下 政博議員

地震発生後の熊本県内では、全域で公衆電話の通話料が無料となり、多くの被災者に利用された。また、災害時に避難所などに設置され、無料で利用できる特設公衆電話もある。

当町でも、避難所となる施設にあらかじめ回線を引いておき、災害時に備えるべきだ。

答 弁

工事費・財源を調査、研究したい

特設公衆電話は、避難者が安否を知らせるなどの通信手段の確保を目的としており、多くの利用が見込まれる。

設置については、保安器、屋内外の配線工事はNTTが実施、電話機の新設に係る費用などは、設置者である自治体の負担となる。

今後、工事費や財源を調査、研究したい。

その後

平成29年4月に設置、利用可能に

NTT西日本の協力により、災害時などに一般電話よりも優先的につながり、無料で利用できる特設公衆電話を、避難所となる小学校と公民館9施設に13回線設置し、平成29年4月から利用可能となった。

今後もさまざまな機関との連携を進めながら災害時に備えることとし、一層の安全、安心のまちづくりに取り組んでいきたい。



津幡町議会HP

みんな楽しくやってみよう!!

サークル紹介第31回

くりから少年剣道教室

道場訓を今につなぐ



代表 西川 篤にしかわ あつし

一、心と体を十分に鍛えましょう

一、自ら進んで正しく強い剣道を学びましょう

一、感謝の心を養いましょう

この道場訓は開設時、故細川盈蔵先生を中心につくられたものです。

昔に比べて子どもたちを取り巻く環境は激変しています。ものの豊かさや利便性を追求する今だからこそ、相手と向き合

い、大きな発声で一本を競い合う剣道は、相手を敬い、己を知ることができる素晴らしいスポーツです。

元気な子どもたちをいつでも見に来てください。

◆練習場所と時間

刈安小学校体育館
毎週火・木曜日

19時30分～21時

◆連絡先

☎090-62276
17877(西川)

一、互いに敬愛し和の心を養いましょう

ディスカバー つばた②

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

～井上三輪神社(浅田)～

井上三輪神社は浅田区にあり、タブノキとウワミズザクラの巨樹で有名な神社です。

タブノキは高さ20m、幹周り4mを誇る立派な鎮守の森です。花が穂になって付くウワミズザクラは高さ20m、幹周り1.8mで、県内にある5本のうち3番目の大きさです。



表紙の題字は

笠野小学校6年

福田 彩夏ふくだ あやかさんの作品です。

教室から見える
笠野の森は、緑が豊
かでもすてきな
森です。津幡町には
このよつな自然がた
くさんあって、私は
大好きです。この豊
かな自然をこれから
大切にしていきたい
です。



議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀(本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く)
 - 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
 - 町民や団体が議員に寄附などを求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

あとがき

新しい6人のメンバーによる議会だよりの編集が始まりました。

町議会では、皆さまの暮らしに関するさまざまなことを活発に議論しています。議会を身近に感じていただけるよう、皆さまと議会との懸け橋となるべく、今後とも広報の充実を心がけ、手にとって読んでもらえる紙面づくりを目指します。

- 編集委員長 荒井 克
副委員長 八十嶋孝司
委員 森川 章
竹内 竜也
井上新太郎
塩谷 道子